

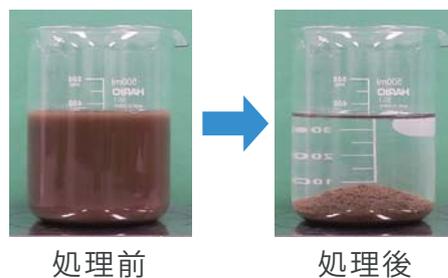
パパット
PAPAT

パパット凝集 パパット沈殿



パパット
PAPAT の特徴

- 1 PAPATを混ぜるだけで
1剤で簡単に凝集処理が可能！
- 2 pHの変化が緩やかで品質管理が簡単！
- 3 流動性が高くサラサラで、添加し易い！
- 4 安価な価格設定で、処理コストダウン！





仕様

性状	粉体
高比重	約0.8
荷姿	20kg / 入目

使用方法

- ①対象濁水に対して、PAPANを0.5～2kg/m³の添加量で添加し、2分間程度急速攪拌（150r.p.m）します。
- ②1分間程度緩速攪拌（50r.p.m）した後、静置します。

※PAPAN添加量と攪拌時間は目安です。凝集の状態やpHに応じて添加量を調整してください。
※対象濁水に合わせてオーダーメイド可能です。ご相談ください。

凝集実験

【条件】

- ・カオリン粉末懸濁水 (SS) 20,000mg/L
- ・PAPAN 1kg/m³ 添加
- ・急速攪拌 (150r.p.m) 2分間
- ・緩速攪拌 (50r.p.m) 1分間
- ・静置 5分間



原水



PAPAN添加2分後

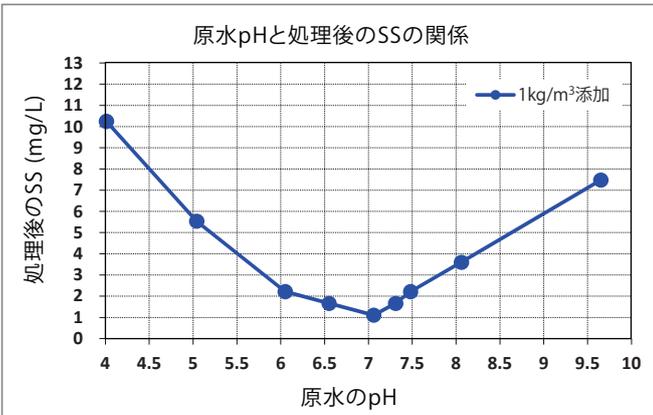


静置5分後

pH試験

▶ 原水 pH の影響が少なく、安定した処理ができます

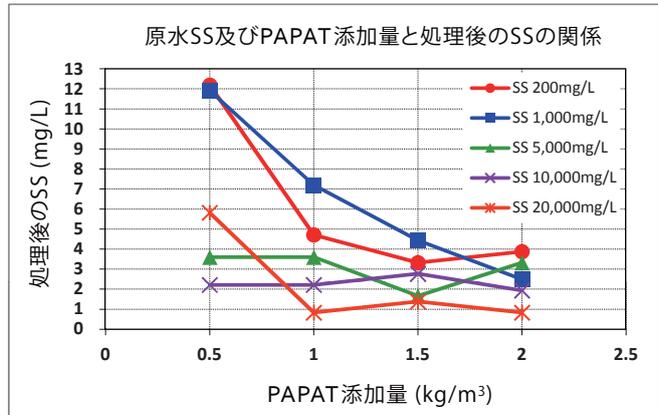
- 【条件】
- ・カオリン粉末懸濁水 (SS) 10,000mg/L
 - ・pH を 4～10 の範囲に調整
 - ・PAPAN 1kg/m³ 添加
 - ・急速攪拌 (150r.p.m) 2分間
 - ・緩速攪拌 (50r.p.m) 1分間
 - ・静置 5分間後の SS を測定



原水 SS 及び PAPAN 添加量試験

▶ 原水 SS や PAPAN 添加量 が変化しても、安定した処理ができます

- 【条件】
- ・カオリン粉末懸濁水 (SS) 200～20,000mg/L
 - ・PAPAN 0.5～2kg/m³ 添加
 - ・急速攪拌 (150r.p.m) 2分間
 - ・緩速攪拌 (50r.p.m) 1分間
 - ・静置 5分間後の SS を測定



※pH試験、PAPAN添加量試験ともに、処理後のSSは水質汚濁に係る環境基準（河川・水道1級）25mg/L以下に適合しています。

ZEOメイトシステム — 濁水・汚泥トータル処理 —

アステック東京は、PAPAN+ZEOメイト+らっくんで構成される濁水・汚泥トータル処理システムをご提案しています。

▶ 粉体水処理凝集剤「PAPAN」



▶ 小型水処理装置「ZEOメイト」



▶ 真空脱水機「らっくん」



除染作業の現場に

都市土木の現場に

ダイオキシン
アスベスト の高圧洗浄現場に

詳しくは、「ZEOメイトシステム」のカタログをご覧ください。
または、下記問い合わせ先へお問い合わせください。

●記載内容は性能改善などにより、予告なく変更することがあります。



〒132-0035 東京都江戸川区平井5-21-3 ガーデン欣志2F
TEL : 03-5631-2171 FAX : 03-5631-2172
E-mail : info@astec-tokyo.co.jp
http://www.astec-tokyo.co.jp